



## 夏休みを終えた今だから読んでほしい 先輩からのメッセージ②

夏休みが終わりました。進路実現に向けた自分なりの学習は十分できましたか。高校見学も2校以上は行ってみましたか。十分でなかった……と心の中に後悔や焦りを抱えている人もいるかもしれませんね。でも、過ぎたことは仕方ない。そんなことで落ち込まずに次のステップへ進んでください。5月に紹介した先輩たちからのメッセージ（一部抜粋）の第2弾を載せます。夏休みを終えた今のみんなの心を動かすメッセージが有ると思うので、じっくり読んでみてください。

◇僕は部活を引退してからすぐに塾に通うようになり、たいたい毎日2時間以上勉強した。夏休みに入ると、毎日10時間以上勉強した。友達が遊んでいるのを見て羨んだが、夏休み中は誰も遊ばずに、ただ勉強をした。9月頃からは平日も毎日5時間以上の勉強に増やした。毎日が修行のような日々だったが、耐え続けた。(略)〔第1志望の都立高校へ進学〕

◇僕が本格的に受験勉強を始めたのは夏休みからでした。志望校が決まっていなかったため、とにかく勉強をして後で決めようと思っていました。夏休みは毎日10時間以上しました。僕は1年生の時、勉強を全くしていなかったため、やる事がたくさんありました。夏休みが終わり、9月から模試を受け始めました。夏休みの成果が出て、模試でいい点数を取ることができました。そこから得点は上がり続けました。2学期の定期テストも、ほとんどのテストで9割以上取り、1学期と比べ内申も上がりました。内申も決まり、学力もたいたいわかってきて、志望校を決定しなければいけない時期になりました。僕は結局、安全圏だった高校を選びました。過去問も6年分解き、順調に受験当日を迎えました。夜も寝られて体調も良く、絶好調でした。当日のテストもいつも通りにできて、無事に受験を終えました。…合格発表の日、自分の受験番号は掲示板にありませんでした。正直、受かると思っていたので、ショックは大きかったです。

しばらくして僕はなぜ受からなかったのか気づきました。それはその高校に入りたいという気持ちが他の受験生よりも弱かったことだと思います。僕は私立高校に進学します。そして、3年後の受験に備えようと思っています。〔第2志望の私立高校へ進学〕

◇高校受験で一番の思い出は家庭学習です。(略)本格的に机と向き合い始めたのは夏休みが終わった後のことだと思います。過去問の英語を解こうと試みたところ、答えが合っているかどうか以前に、長文を読み終わることさえもできず、点数は50点前後でした。自分のふがいなさに言葉も出ず、どうしたものかと窓から外を見る日が続きました。そうしているうちに気づきました。自分一人でやるべきではないと。その日から母、兄などから助言をもらい、勉強を始めました。助言によって、わからない単語はすべて紙に書き留めておき、暇なときに繰り返し書くことになりました。努力が報われたのか、次の模試では60点以上を出すことができました。(略)努力をしてそれが結果に結びつくというのは、気分が良いもので、その頃の私は勉強がちょっと好きになっていました。〔第1志望の都立高校へ進学〕

◇3年の夏休みを迎えても私は自分の生きたい高校の見当がつかず、4月からじぶんがどこかの高校へ通うなんて全くイメージができていなかった。進路希望調査には何となく近くの名前しか知らないような都立高校の名前を書いて、ごまかしていたし、とりあえず都立にさえいければいいかなとぼんやりとした考えをもちながら夏休みを消化した。(略)結局冬休み迎えても自分の行きたい高校が決まっていなかった。周りの友達には志望校を決め、それに向けて勉強しているし、おいていかれているのは明らかだったが、私はぼんやりとした性格なので、なぜか余裕だった。そんなある日、母からある私立高校を薦められ

た。

あれだけ都立高校にあこがれを持ち、私立高校を嫌がっていた私だったが、実は都立高校を初めに希望していたのは、「みんなも行くし、私立より良さそうだ」といった適当な考えからだった。でも、実際にはいくつかの都立高校を見に行ってもどれもピンとこなかった。だから、その私立高校を訪れた時の「こた」という感じは初めてだった。〔第1志望の私立高校に進学〕

その他にも、夏休みはもちろん2学期になってもスマホやiPadやテレビの誘惑と戦い続けて勝った人、負けた人、2学期の内申を上げようと努力したけど上がらなくて志望校をあきらめた人、夏休みの理社の勉強の成果が後から出てきて、冬になって模擬試験の得点がぐんと上がった人等々……先輩の受験体験記を読むと、そこにはどこにでもある受験生の姿がありました。君たちはその声をどう受け止め、どう生かしていきますか。

## 第2回進路希望調査

本日配布→9月10日(月)提出締め切り

厳守!

夏休みの面談や学習の成果、学校見学等によって、7月に提出した進路希望の内容が変わっていることでしょう。もう一度保護者とよく話し合っ、現段階での希望を記入して、提出をしてください。今回は、説明会等への参加についても記入すること。

次の面談は11月です。その前にもう一度進路希望調査がありますが、その時点で記入した学校はすべて学校見学会や説明会に参加しているようにすること。(文化祭だけではだめです!) 11月の面談では、「2学期の評定や今後の得点力がこうだったら、このパターンで受ける。」というように具体的に志望校を絞ります。「見学してから気に入ったらそうします。」という状態では、面談のやり直しになってしまいます。

そして、もちろん提出期限を厳守すること。1学期もあれだけ連絡、注意をしたにもかかわらず、いろいろな提出物の期限遅れがどのクラスにもありました。当事者意識と危機感をもっていきましょう!

## 【記入の仕方】

志望順位	学校名	希望する理由	学校説明会、見学、行事への参加
生徒	・学校名 ・学科・入試のタイプ ・志望校と学力の自己分析(どれかに○)		
1	都立大沢南高等学校 普通科 推薦・併願・ <b>般(一次)</b> 安全圏・ <b>実力相応圏</b> 努力圏	英語の授業に力を入れていて、留学制度もある。自分が入りたいバレー部が強い。	( )説明会・見学会 ( )体験入学・入部 (○)今後行く予定 予定日( 9/15 )

♥私は頭がいいわけではない。ただ、人より粘り強く問題と付き合うだけなのだ。  
(ドイツの物理学者・アインシュタイン)

★進路だよりは必ずその日のうちに保護者に渡し、内容について話し合ったり情報を交換したりした後、家庭で保管してください。